

KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

No.376 2022
鹿児島ワイズメンズクラブ

4 月号

国際会長 : Kim Sang-chaе [韓国] 世界とともにワイズメン Y's Men with the World
 アジア会長 : 大野 勉 [神戸ポート] 100年を越えて変革しよう Make a difference beyond the 100th
 西日本区理事 : 新山 兼司 [京都トップス] Challenges for the future 未来への挑戦
 九州部部长 : 森 律子 [八代] 小さなことにも大きな愛を込めて。そして未来へ
 With great love for the little things And towards the future...



SDG's を鹿児島で!

It's time to think about SDG's in Kagoshima.

鹿児島クラブ会長 中堀 清哲

3月例会報告

3月の定例会は新型コロナウイルスの蔓延によりオンラインのZOOMによる開催となりました。主な協議事項としては鹿児島市内のホームレスの人達におにぎり配布のボランティアをどうするのか、ということでした。具体的に何か出来ることから始めて、鹿児島クラブの存在意識を高めようと、4月15日に実行することが決定しました。鹿児島弁で言うところの「泣こかい跳ばかい泣こよっかひっ跳べ」という感じでしょうか。月に1回ですが継続できますように願うところです。

鹿児島クラブ 中堀 清哲



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT



会長通信

鹿児島クラブ会長 中堀 清哲

SDG's を鹿児島で!

It's time to think about SDG's in Kagoshima.



私は毎日欠かさず、ニュースだけは視たり聴いたりするようにしております。しかし、最近ではロシアのウクライナ侵攻とコロナウィルスのニュースばかりで気分が滅入ってしまいます。日本のテレビニュースは特に民放においてはワイドショー的な娯楽性が強すぎるような気がします。視聴率が最も大事でスポンサーの威光が大きく左右している民間の放送局の悲しさがあるようです。理想を言うならば、ニュースは起きた出来事を出来る限り、客観的に視聴者に伝え、出来事の判断は視聴者の判断に委ねるべきでしょう。

今から約160年前の日本は約250年の江戸幕府の鎖国政策における泰平の世の中が終わりを告げようとしていました。そこへ、産業革命を成し遂げて植民地争奪戦を展開していたヨーロッパ各国やアメリカの魔の手が日本に迫ってまいりました。日本は様々な幸運に恵まれ、先人たちの血のにじむような努力で独立を保ちました。北方からはロシアが圧力をかけてきて国家存亡の危機だった時もありました。1904年から翌1905年までの日露戦争は大祖国防衛戦争だったのです。私の住む霧島市牧園町の高千穂地区一帯は

明治29(1896)年にロシアとの戦争準備、軍馬を生産するための国営種場牧場を造るために原生林が切り開かれた場所でした。近代化して間もない日本は多大な犠牲を払ってロシアには、かろうじて勝利し、独立を保ちました。しかしその後はミイラ取りがミイラになってしまい、他の西洋諸国同様に植民地争奪戦に加わり、拳銃、太平洋戦争で何もかも失ってしまいました。太平洋戦争で多くの犠牲を払ってその後、奇跡の復興を遂げ、平和を謳歌してきた日本でしたが、今再び、日本周辺は緊張感が高まっています。中国の強大化、北朝鮮の核開発、そしてロシアです。ウクライナの悲劇は決して対岸の火事ではありません。北海道からも目視できる北方4島には今も不法にロシアが居座っているのです。この事を決して忘れるべきではないのです。だからと言って、簡単に軍備拡張に方針を切り替えろ、ということではありません。心のどこかに皆さん、少しでも緊張感を持ちましょう、ということです。資源のない日本がこれまでに無駄にしてきた様々な資源を大切にしたり、食料自給率を高めたり、国産化できるものは国産で賄うことです。つまり、これはSDGsを実行することにもつながります。今まで日本は本当に幸運に恵まれてまいりました。今後はなかなか今までの様にはいかないと思います。ただ、言えることは、SDGsを具体的に実行しなければ、私たちの住む地球はいや、地球というより人類は危機的な状況になるということです。戦争などやっている暇はないのです。



理事通信

西日本区理事 新山 兼司

Challenges for the future
未来への挑戦



21世紀の時代に、とんでもないことが起きました。ご存じの通りロシアによるウクライナ侵攻です。

米欧など西側諸国は「ロシア商業銀行のSWIFTからの排除」と「ロシア中銀の外貨準備の凍結」を柱とする制裁を科しました。これはロシアの海外との送金を困難化させ、貿易・金融取引を事実上停止させるほか、ロシア中銀による通貨防衛を不能にさせる強い措置をとることとなりました。

日本のYMCAは第二次世界大戦における歴史的責任を認識し「日本YMCA基本原則」において世界の人々と共に平和の実現に努めることを誓っています。

今回のロシアによるウクライナ侵攻について、軍事進攻に反対し、国際的な意見の相違があっても戦争が解決策になることはなく、対話と協力による外交的な解決策が見つかり、武力紛争が一刻も早く終結することを強く願います。

このたび、世界YMCA同盟ならびにヨーロッパYMCA同盟の呼びかけによりウクライナへの緊急支援募金の協力をお願いされています。2022年3月2日 西日本区各クラブ会長様へ緊急支援募金についての詳細をメールにて送りました。募金につきましては日本YMCA同盟に送金されます。皆様の御協力をお願い申し上げます。

2022年3月4日第5回東西交流プログラム委員会オンラインにて開催。

ワイズメンズクラブ国際協会100周年／東西日本区25周年記念で、2023年2月4日～2月5日に開催される第3回東西日本区交流会の基本的なプログラムがまとまりました。次回、予算等の検討となります。

2022年3月5日インドネシア マラン・ワイズメンズクラブ チャーターセレモニーハイブリットにて開催。

東南アジア地区インドネシア・マラン ワイズメンズクラブはチャーターメンバー数22名・マラン市に住む様々な民族出身者で構成され、講師・教師・医師・ビジネスマン・NGO・民間企業家などの職業人集団です。ほとんどのメンバーはキリスト教徒の方々です。

スポンサークラブは、タイチェンマイ・ワイズメンズクラブ、マレーシア・シルバーステートYサービスクラブ、バンコク・ワイズメンズクラブの3クラブがスポンサークラブとしてご紹介されました。コロナ禍の中、ハイブリットでのチャーターセレモニーでしたが、たいへん素晴らしいセレモニーに参加させて頂き、有難うございました。

マラン・ワイズメンズクラブの皆様、チャーター誠におめでとうございます。

2022年3月6日Y' S・YMCA × SDGs Youth Action 2022プレゼンテーションイベントオンラインにて開催。

全国には35都市に200拠点以上のYMCA、140ほどのワイズメンズクラブがあります。そのYMCAとワイズメンズクラブがSDGsの定める地域課題解決に向けたユースの皆様の活動に助成金(各最大20万円迄)を提供し、審査のうえで選ばれたユースグループが実施する活動に対して、その地域のスタッフが伴走します。共に地域の課題解決に向けて活動します。

グループエントリーが18チームあり、どのチームも素晴らしいプレゼンテーションをして頂きました。東西日本区・日本YMCAからの選考委員会の皆様と検討し、10チームにしぼり、採用されたチームが、これから活動の準備に入って頂きます。審査選考会、お疲れ様でした。

2022年3月9日京都トップスクラブ3月例会ハイブリットにて開催。

お昼の番組バイキングに出演されています。西川研一弁護士の講演例会でした。印象に残ったのは、メディア戦略としてブランディング × マーケティングのお話に興味を持ちました。いろんな意味での方向性があることにも気づかされ素晴らしい講演でした。京都パレスクラブより、4名の皆様から50周年例会のアピールにお越し頂き、ハイブリットの例会にもかかわらず50名以上の参加者が集う例会が開催されました。

ご準備を頂いた皆様に感謝!

3月11日西日本区常任役員会オンラインにて開催。

- ① Y' S・YMCA × SDGs Youth Action 2022 支援金について、事業委員会拠出比率について、選考結果承認の件など検討。
- ② 京都みやびクラブ解散の件。
- ③ ウクライナ緊急支援金について。

3月12日西日本区次期会長・主査研修会ハイブリットにて開催。

残念ながら新型コロナの影響により、今年度も単日開催となりました。現地参加約40名及びオンライン参加約120名の研修会でした。

単日開催ではありましたが、次年度に向かっての実りのある研修会ができました。

ご準備をして頂いたLD委員の皆様、西日本区事務所の皆様、有難うございました。ご参加頂いた皆様、お疲れ様でした。

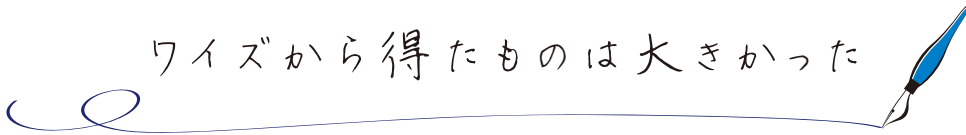
3月20日京都プリンスワイズメンズクラブ35周年記念例会開催。

新型コロナの影響により人数制限をされ、京都プリンスクラブの35周年記念例会がザ・プリンス京都宝ヶ池にて開催されました。

過去・現在・未来を考え「子供達の未来のために」をクラブコンセプトにされている京都プリンスクラブの素晴らしい35周年記念例会でした。

誠におめでとうございます。

ワイズから得たものは大きかった



神村 浩

私がワイズに入会したのは、チャーターから半年後で55才の時でした。ワイズに入会したことで得たものは大きかった。まず何を得たか三つあげよう。劣等感がなくなったこと。人前でしゃべることを身につけたこと。文章を綴ることを覚えたこと。これは私の人生を大きく変える原動力となりました。

劣等感から解放されたことは、その後の人生を良い方向に変えてゆきました。

私には二人の兄がおり、二人とも子供の頃から優秀で、東大を出て一流企業に就職していました。いつも周りから比較され、肩身の狭い思いをして育ってきました。親からも「出来損ない」の息子と思われても仕方ない存在でした。少年時代から私は劣等感の塊のようなもので、特に東大コンプレックスは根強く、東大と聞いただけで会話することすら出来ませんでした。

入会した時の会長は東大卒どころか、東大教授の肩書でした。もう一人おられて、その方は部を変えて二回も東大を卒業された方でした。話しかけられるのが怖くて私は近寄ることもしませんでした。こんな会は私が居るような処ではないと思い、退会することばかり考えていました。例会が終わると誰とも話すことなく、逃げるように帰ったものでした。それは私の身についた劣等感からくるものでした。

ところが、ある日、東大教授の会長から電話がきたのです。さあ大変!どうしよう。電話の内容はあまりにも平凡な質問で、私は拍子抜けすると同時に親近感を感じたのです。東大を出ても世間の常識を知らないこともあると知ったのです。急激とはいかなくとも、徐々に東大教授ともお話するようになっていきました。それと同時に、大学コンプレックスからも抜け出せたような気が致します。

この東大教授の逸話をお話し致します。熊本での九州部会に出席するため、二人で特急「つばめ」に乗ったときの出来事。座席指定券なしでコンバーチブル(ガラス張の4人席)に座りました。当然教授は居心地が悪かったみたいで、自由席に移ろうと言い出しました。私は最初からずるい考えを持っていたので動かなかったのです。私は「指定券の人が来た時、空ければ良い」と云ったところ、彼は真剣な顔で「それはいけないことです」と大きな声を出しました。そんな時、車掌がドアを開け検札に来ました。すると彼は恐怖で顔色が青くなり、腰を半分浮かした格好でした。車掌は「指定者が来たら空けて下さいね」と軽く言い残して出てゆきました。彼は腰をドスンと落としホッとため息をついたのです。席はガラガラで一両に二人しか乗っていませんでした。多分ズル賢い事など初めての経験だったのでしょう。この教授は少年のように純粋な人なのだと思います。だんだん好きになりました。

教授は勲二等瑞宝章(東大電算室長でコンピューターの指導者として)を叙勲されました。記念に貰った「菊の御紋いりの缶入ピース」を私にくださったのです。実に控えめで少年のような精神の持ち主でした。奥さんに先立たれ、一人息子もアメリカで暮らしており、寂しい老後だったようでした。きっとワイズの仲間が唯一気を許せる人達だったのでしょう。私の家にもあがり、家内が出したカレーライスを「おいしいおいしい」と食べたことを思い出します。

1996年に召天しましたが、喪主に代ってワイズで葬式を出しました。この東大教授は私を劣等感から解放してくれた恩人です。私を東大コンプレックスから救ってくれたのは、東大卒の東大教授だったので。それは東大を出た人でも平等な人間であることを見せてくれたからです。

やはりワイズから得たものは大きかった。ワイズに席を置き、何をしようかと云う前に友達を作ってください。皆さんにとってワイズから何かを得、居心地の良い所であってほしいものです。奉仕活動など大した問題ではないと思います。

人前でしゃべれること、文章を綴ること、この二点はまた次の機会にいたします。

04 企画例会報告 Planning meeting report

日時：令和4年4月12日 火曜日
19:00 ~ 20:00

場所：Zoom

出席者：神村、中堀、園屋、徳田、新内、松永

03 定例会報告 Planning meeting report

日時：令和3年3月22日 火曜日

場所：Zoom

出席者：6名

司会者：徳田

3月例会の記録

クラブ在籍者	9名
出席者	6名
メネット	0名
ゲスト	0名
ビジター	0名
メイクアップ	0名
3月出席率	66.7%



今月の樹

ナシ (梨)

ナシ(和なし、日本なし)は、中国を原産とし日本の本州、四国、九州、中国や朝鮮半島、台湾島に生育する野生種ヤマナシ(ニホンヤマナシ、*P. pyrifolia* var. *pyrifolia*)を基本種とする栽培品種群のことである。

高さ15メートルほどの落葉高木。葉は長さ12cm程の卵形で、縁に芒状の鋸歯がある。花期は4月頃で、葉の展開とともに5枚の白い花弁からなる花を付ける。8月下旬から11月頃にかけて、黄褐色または黄緑色でリンゴに似た直径10 - 18センチメートル程度の球形の果実がなり、食用とされる。果肉は白色で、甘く果汁が多い。リンゴやカキと同様、尻の方が甘みが強く、一方で芯の部分は酸味が強いいためあまり美味しくない。しゃりしゃりとした独特の食感がナシの特徴だが、これは石細胞と呼ばれるものによる。石細胞とは、ペントサン(英語版)やリグニンという物質が果肉に蓄積することで細胞壁が厚くなったものである。洋なしは和なしよりも石細胞の量が少ないために、洋梨と和梨とでは食感に大きな差が生じる。



ウィキペディア参照

今月の聖句

「隣人を自分のように愛しなさい」

ルカ10章27節

鹿児島YMCA報告

鹿児島YMCA会員大会開催のお知らせ

2022年度がスタートしました。先日は無事に第8回鹿児島YMCAチアダンススクール発表会を宝山ホールにて開催することが出来ました。約250名のチアリーダーたちが、1年間の頑張りを披露する機会となりました。チアダンススクールは、この発表会を区切りとして活動年度として終了となり、ゴールデンウイーク明けの5月から新シーズン、そして13年目を迎えることとなります。

さて、今回は鹿児島YMCA会員大会をご紹介します。これまで会員総会として、毎年6月に開催してきました。近年コロナの影響もありますが、会員総会の出席者が年々減り続けていることを危惧し、YMCAの在り方、原点と向き合うべきではないかと私自身考えています。

YMCAの原点とは何か。YMCAは理念のもとに人の集まる場所です。YMCAの理念とは使命であり、その使命に共感し実現するために集う人々を会員と呼び、会員によってその実現する形をYMCA運動と呼んできました。YMCA運動を1年に1度確認する場が会員総会であるわけです。

今、鹿児島YMCAの会員はほぼ9割近くが青少年、つまりチアダンススクールに通う子どもたちです。青少年会員は、総会での議決権をもつことができない会員です。つまり1割の総意で進められていくYMCA運動であってはいけないと思うのです。それを解決する在り方が、私は会員大会だと思っています。

2022年6月に初めての取り組みとして実施するYMCA会員大会は、青少年会員であるチアリーダーたちが活動発表を通して活動発表を行い、清掃活動やチャリティーラン、ピンクシャツデーなどの取り組みを紹介し、YMCAがどう歩んできたかを報告します。そしてワイズメンズクラブの紹介、PRもぜひお願いしたいと思っています。イメージとしては、ワイズの区大会のようなイメージとお考え下さるとわかりやすいかもしれません。

このような新しい取り組みを行うことによって、YMCAは会員が主役の組織であることを確認していきたいと思っています。1から作り上げていくことに不安もありますが、それ以上に楽しみがあります。**6月4日(土) 17時から 鹿児島市民文化ホール第2**で予定しています。スケジュールの確保よろしくお願いたします。

鹿児島YMCA 新内 博之

